

# 事後評価実施箇所

# 位置図

(事後評価件数：2件)

(森林局所管)

番号	箇所名	重点
18	諏訪ノ台線	
19	原 泉	

治山 原 泉

林道 諏訪ノ台線



平成26年度

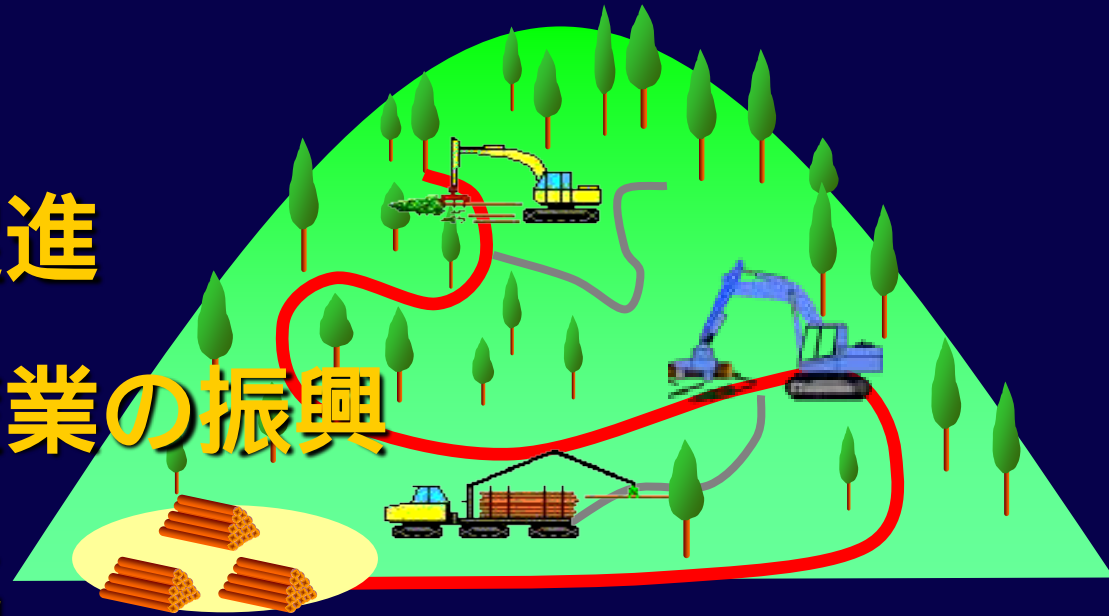
公共事業事後評価（林道事業）

# 林道 諏訪ノ台線

交通基盤部 森林局 森林整備課

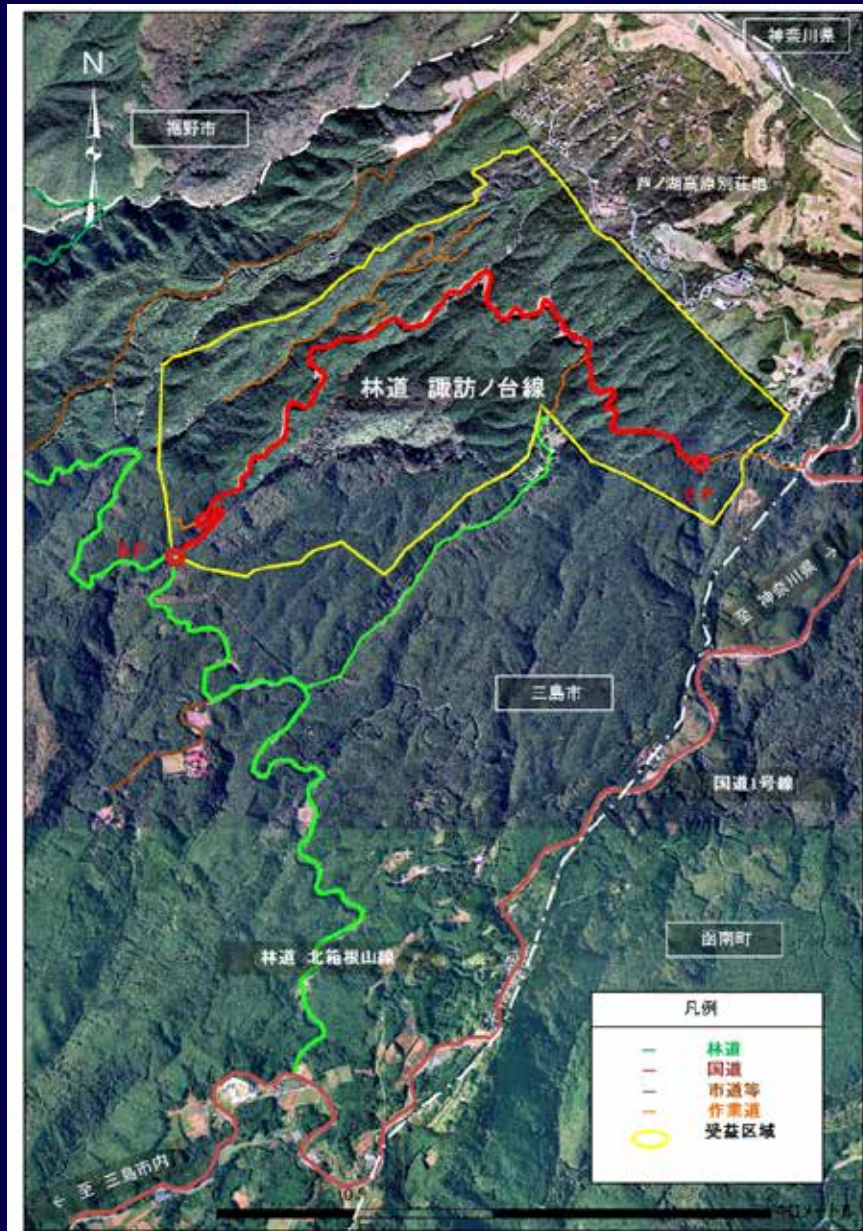
# 【事業目的】

- ① 森林整備の促進
- ② 林業・木材産業の振興
- ③ 山村の活性化



林道沿線での木材生産

# 【事業概要】



事業延長：3,020m

全幅員：4.0m



受益区域：192ha

総事業費：430百万円

事業完了：H20

# 【事業の必要性】

## ○森林資源の状況

受益区域面積：192ha



受益区域内の森林の状況

⇒ スギ・ヒノキ林：165ha（86%）



森林資源の充実



資源の循環利用

# 【事業の効果等】

○総費用（C） 7.4億円

○総便益（B） 9.4億円

木材生産等便益	2.3億円
森林整備経費縮減等便益	7.1億円
便益計	9.4億円

費用対効果分析（B/C） = 1.28

# 【事業の効果等】

○受益区域内（192ha）における森林整備実績(H7～H24)

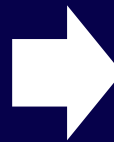
区分	間伐	計
延べ面積	137.0ha	137.0ha

※受益区域内の  
約7割

※作業道延長 L=2,000m



整備前



整備後

# 【事業実施による環境の変化】

社会貢献や学びの場に  
**箱根山の森づくり始動**



**三島の組合 100年先見据え構想**

三島市東部に広がる箱根山の森づくり計画が動き出している。約2千haを擁する箱根山組合（三島市外五ヶ市町箱根山組合と三島市外三ヶ市町箱根山林組合の総称。管理者・豊岡武志、島市長）が県をこら推進された100年の整備事業計画を策定した。治山治水を基本に、「住民との協働」や「森づくりを生きる人づくし」など、100年生を目標とした構想を打ち出している。

計画地は、三島市と近い、国道1号線の年々に分収林契約を創設の森（など）に区別を施して、いた原から遠慮りした。企業や地域住民を呼び、10年10月から、民の社会貢献の場にする。二つの組合議会がそれることや、管理にそれぞれ特別委員会を設置。必要な技術者を場にする。二つで検討を進め、することを構想している。

策定したのは、市内 組合議会合同会議の審議を経て、田川川原流 志村肇議長は「山は放つておくこと死んでしまふ。より一般市民が箱根山に関われるように事業を切り替えて、100年先を見据えた構想だ。また、計画を立てたと説明した。計画を社会貢献の場にする。



木材生産の状況

- **木材生産に向けた取組**
- 保育間伐から利用間伐への施業方法の転換。
- **計画的かつ適切な森林管理への取組**
- 大規模所有者の箱根山組合が中心に森づくり計画を策定。
- **東部農林管内の木材生産量の増加**
- 15,600m<sup>3</sup>（H22）      27,500m<sup>3</sup>（H24）      **約1.8倍**



# 【対応方針（案）】

## ○評価結果

効果は十分に発現しており、改善措置の必要はない。

## ○今後の課題等

- ・ 林道を核にした木材生産の推進

## ○同種事業への反映等

- ・ 三島市による利用間伐推進の取組
- ・ 大規模所有者を中心とした森づくり計画

